

# 2021年度 第2四半期 決算説明会 資料

## ファナック株式会社

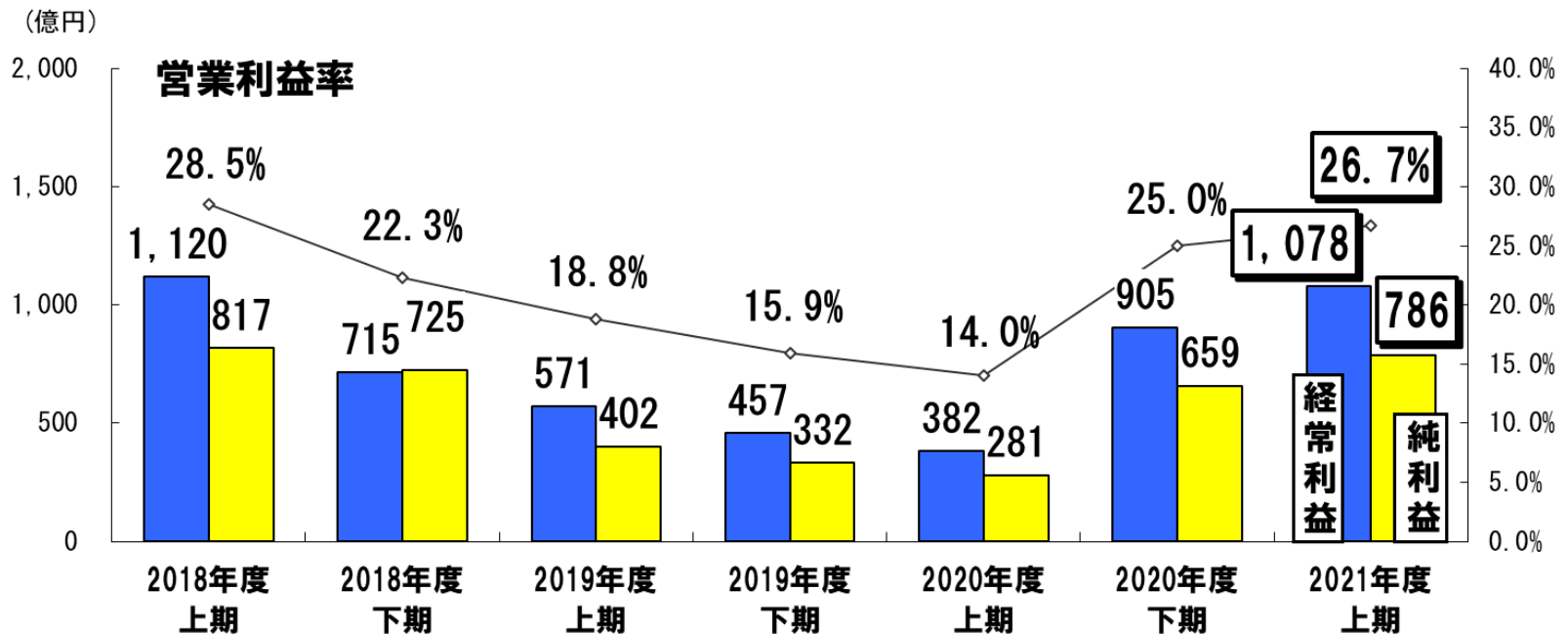
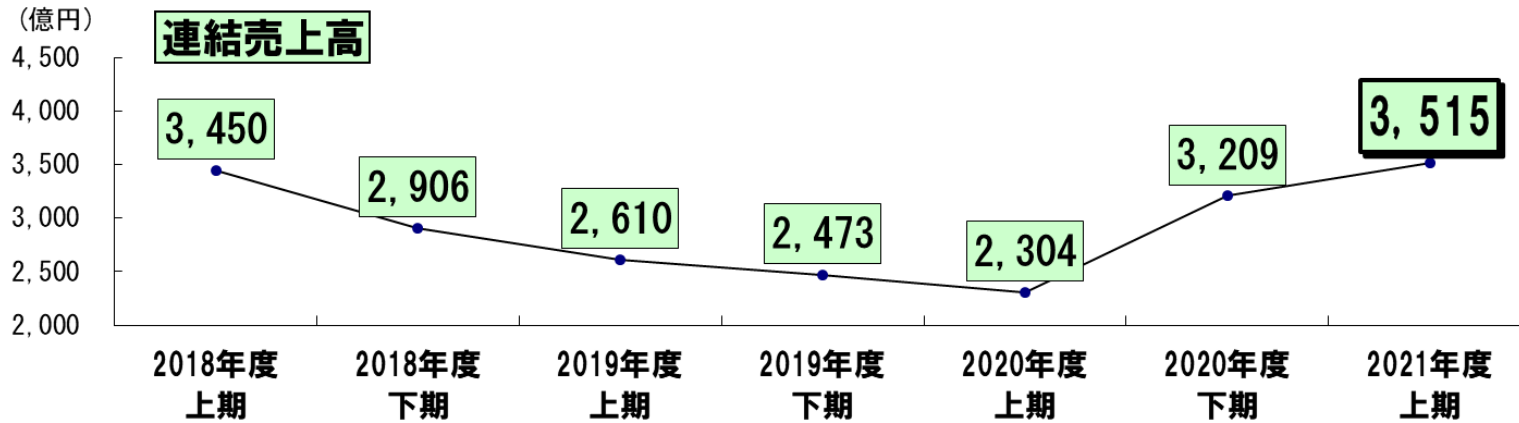
---

本資料に含まれている見直しには、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際と異なる可能性があることをご承知おき願います。

# 2021年度 上期 連結実績

(単位：億円)	2020年度 上期実績	2021年度 上期予想	2021年度 上期実績	増減率 前年同期比	増減率 前回予想比
<b>売上高</b>	2,304	3,674	3,515	+52.5%	-4.3%
<b>売上原価</b> 【売上原価率】	1,567 68.0%	2,134 58.1%	2,054 58.4%	+31.1%	-3.7%
<b>営業利益</b> 【営業利益率】	323 14.0%	1,019 27.7%	939 26.7%	+190.6%	-7.8%
<b>経常利益</b> 【経常利益率】	382 16.6%	1,148 31.2%	1,078 30.7%	+182.1%	-6.1%
<b>特別損益</b>	-	-5	-5	-	-
<b>純利益</b> 【純利益率】	281 12.2%	818 22.3%	786 22.4%	+179.8%	-3.9%
為替レート					
円/1USD	106.92	107.25	109.80	+2.7%	+2.4%
円/1EUR	121.30	128.48	130.90	+7.9%	+1.9%

# 連結売上高・損益 半期推移

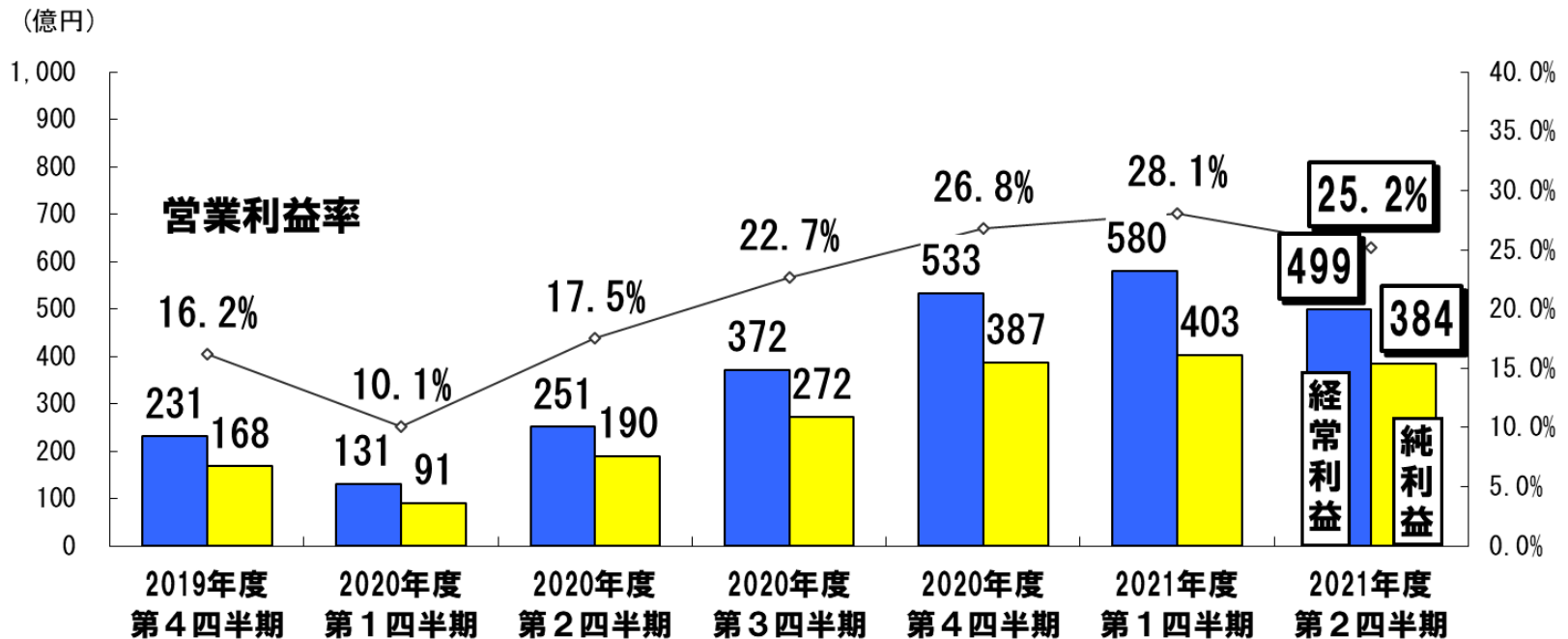
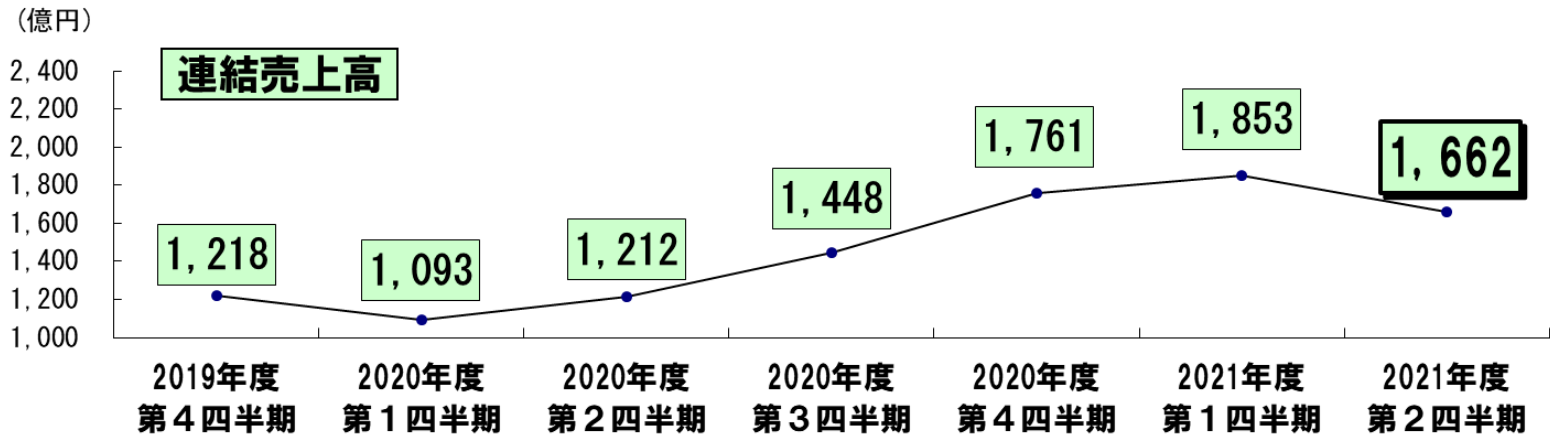


純利益 = 親会社株主に帰属する純利益

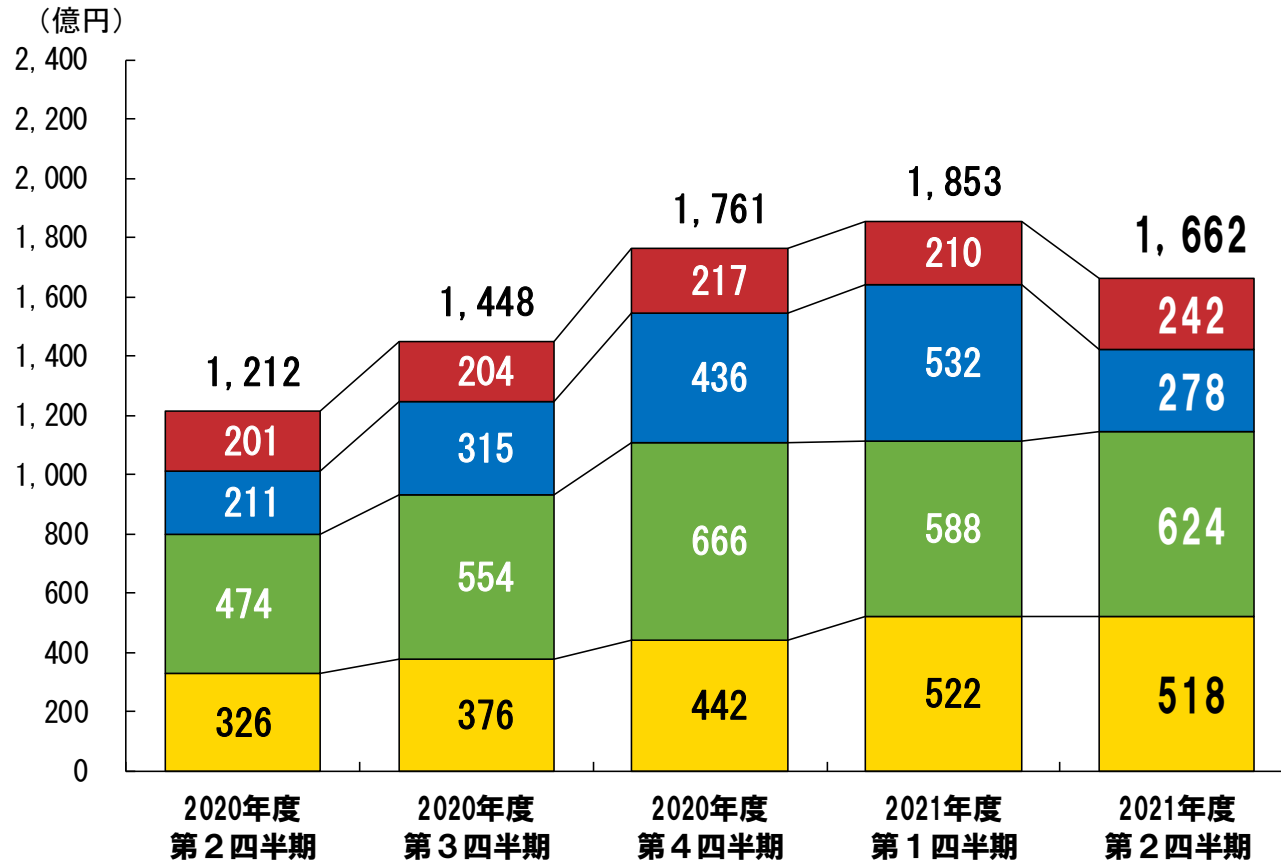
# 2021年度 第2四半期(3ヶ月) 連結実績

(単位：億円)	2020年度 第2四半期 (7～9月)	2021年度 第1四半期 (4～6月)	2021年度 第2四半期 (7～9月)	増減率 前年同期比	増減率 前四半期比
<b>売上高</b>	1,212	1,853	1,662	+37.2%	-10.3%
<b>売上原価</b> 【売上原価率】	789 65.1%	1,074 58.0%	980 58.9%	+24.2%	-8.8%
<b>営業利益</b> 【営業利益率】	212 17.5%	521 28.1%	419 25.2%	+97.0%	-19.6%
<b>経常利益</b> 【経常利益率】	251 20.7%	580 31.3%	499 30.0%	+98.8%	-14.0%
<b>特別損益</b>	-	-5	-	-	-
<b>純利益</b> 【純利益率】	190 15.7%	403 21.7%	384 23.1%	+101.6%	-4.8%
為替レート					
円/1USD	106.22	109.49	110.11	+3.7%	+0.6%
円/1EUR	124.11	131.96	129.84	+4.6%	-1.6%

# 連結売上高・損益 四半期推移



# 連結 部門別売上高



■ FA ■ ロボット ■ ロボマシン ■ サービス

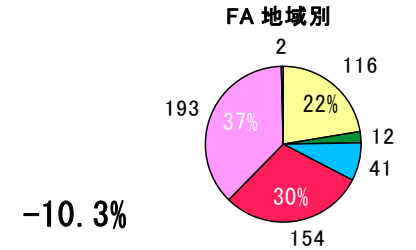
## 第2四半期（3ヵ月）の状況〔2021年度第1四半期との比較〕

FA → 中国で減少。台湾、インドで増加。

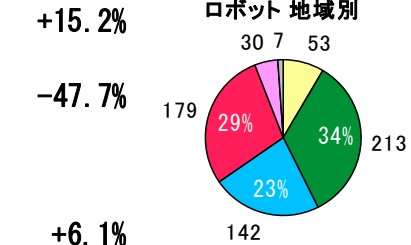
ロボット → 国内、米州、中国で増加。

ロボマシン → 中国で大幅に減少。

## 2021年度第2四半期



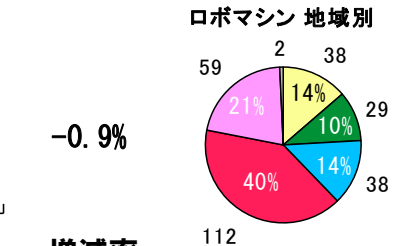
-10.3%



+15.2%

-47.7%

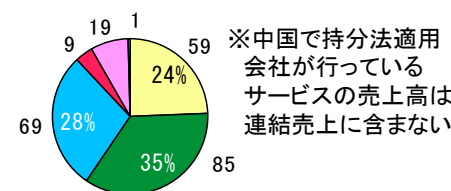
+6.1%



-0.9%

増減率  
前期比

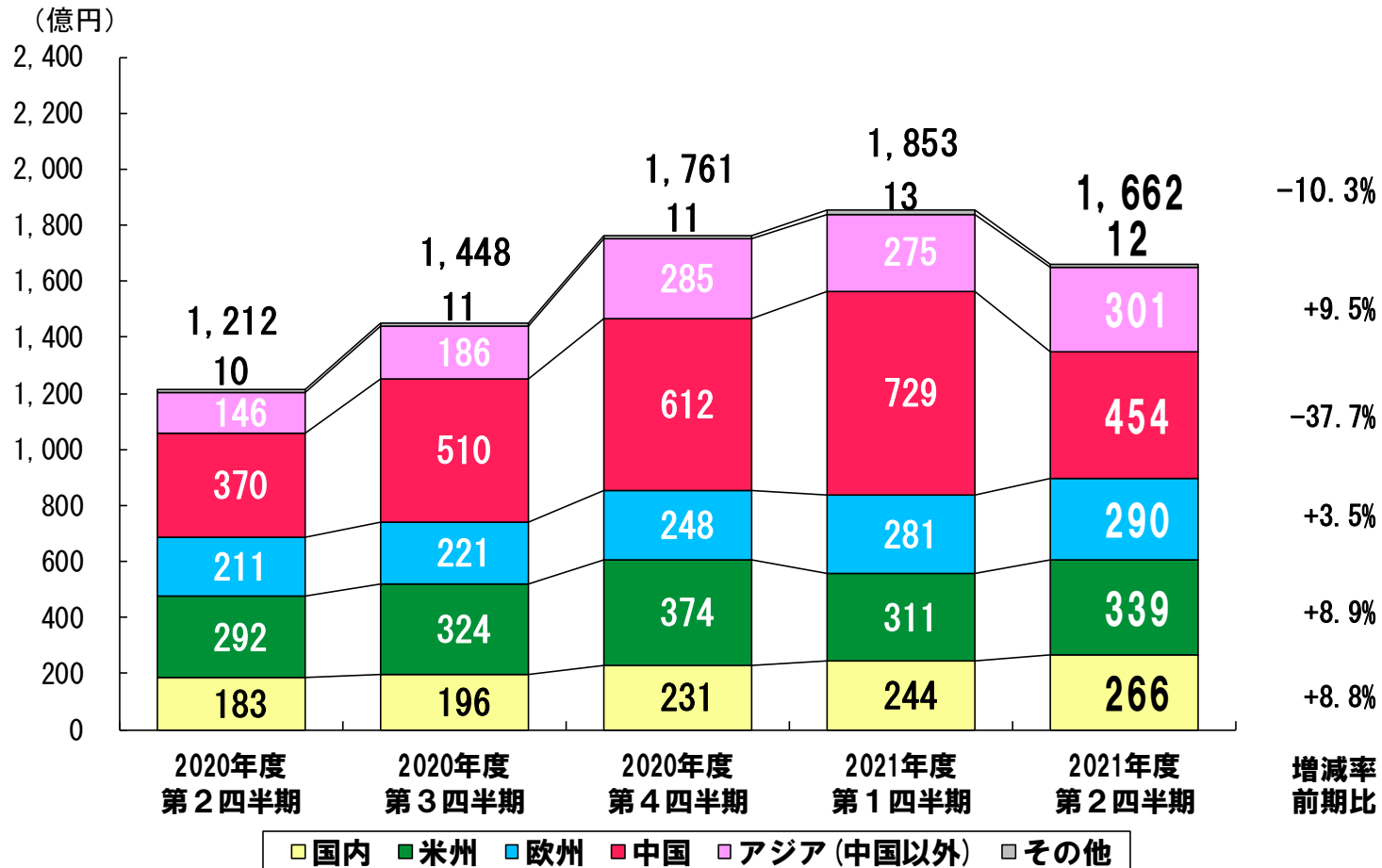
## サービス 地域別



※中国で持分法適用  
会社が行っている  
サービスの売上高は  
連結売上に含まない

□ 国内 □ 米州  
□ 欧州 □ 中国  
□ アジア(中国以外) □ その他

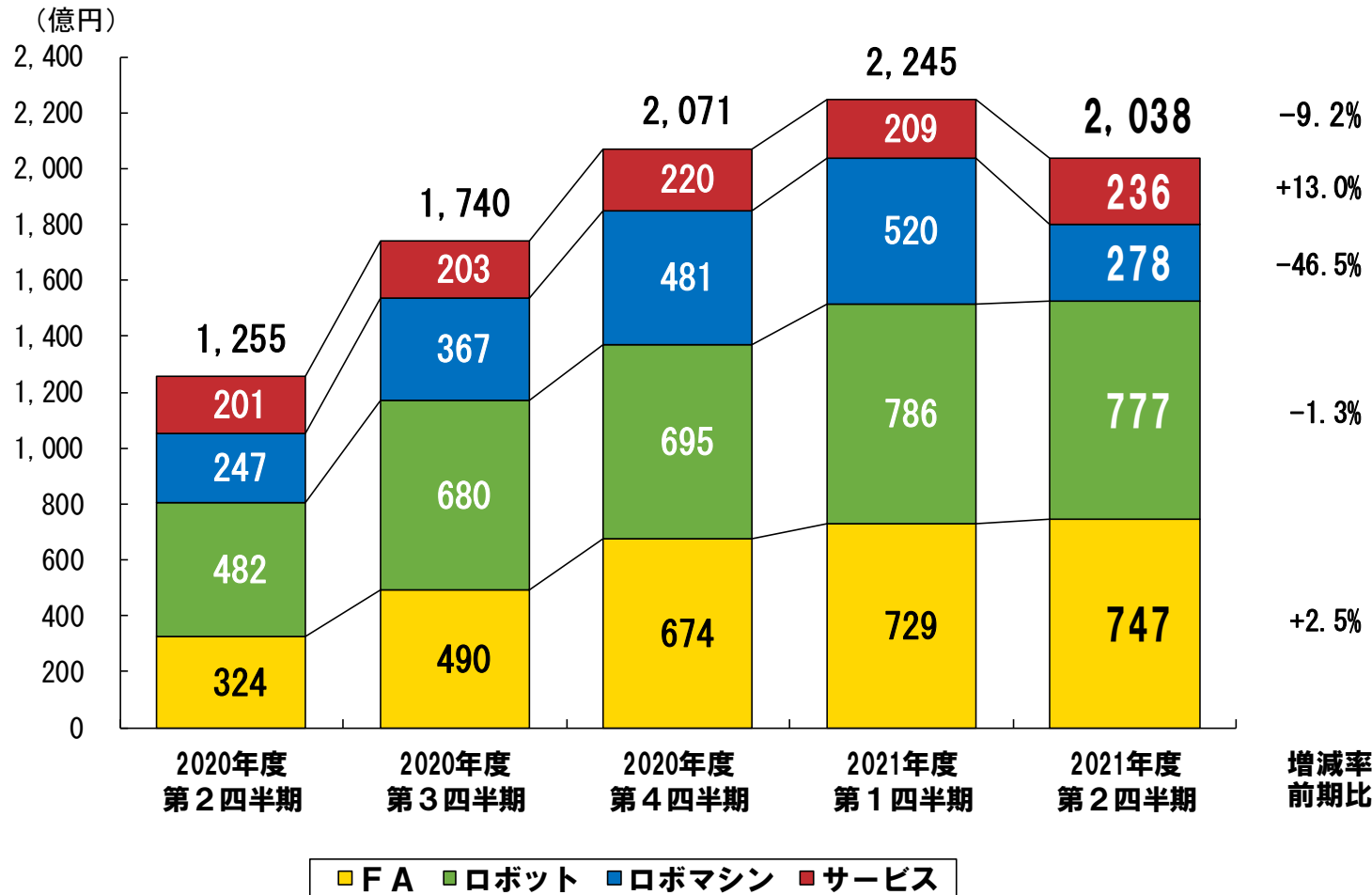
# 連結 地域別売上高



## 第2四半期（3ヵ月）の状況〔2021年度第1四半期との比較〕

- 国内 → ロボットが増加。
- 米州 → ロボットが増加。
- 欧州 → FA、ロボット、ロボマシンいずれも横ばい。
- 中国 → ロボマシンが大幅に減少。FAが減少。ロボットが増加。
- アジア (中国以外) → FAが台湾、インドで増加。

# 連結 部門別受注高

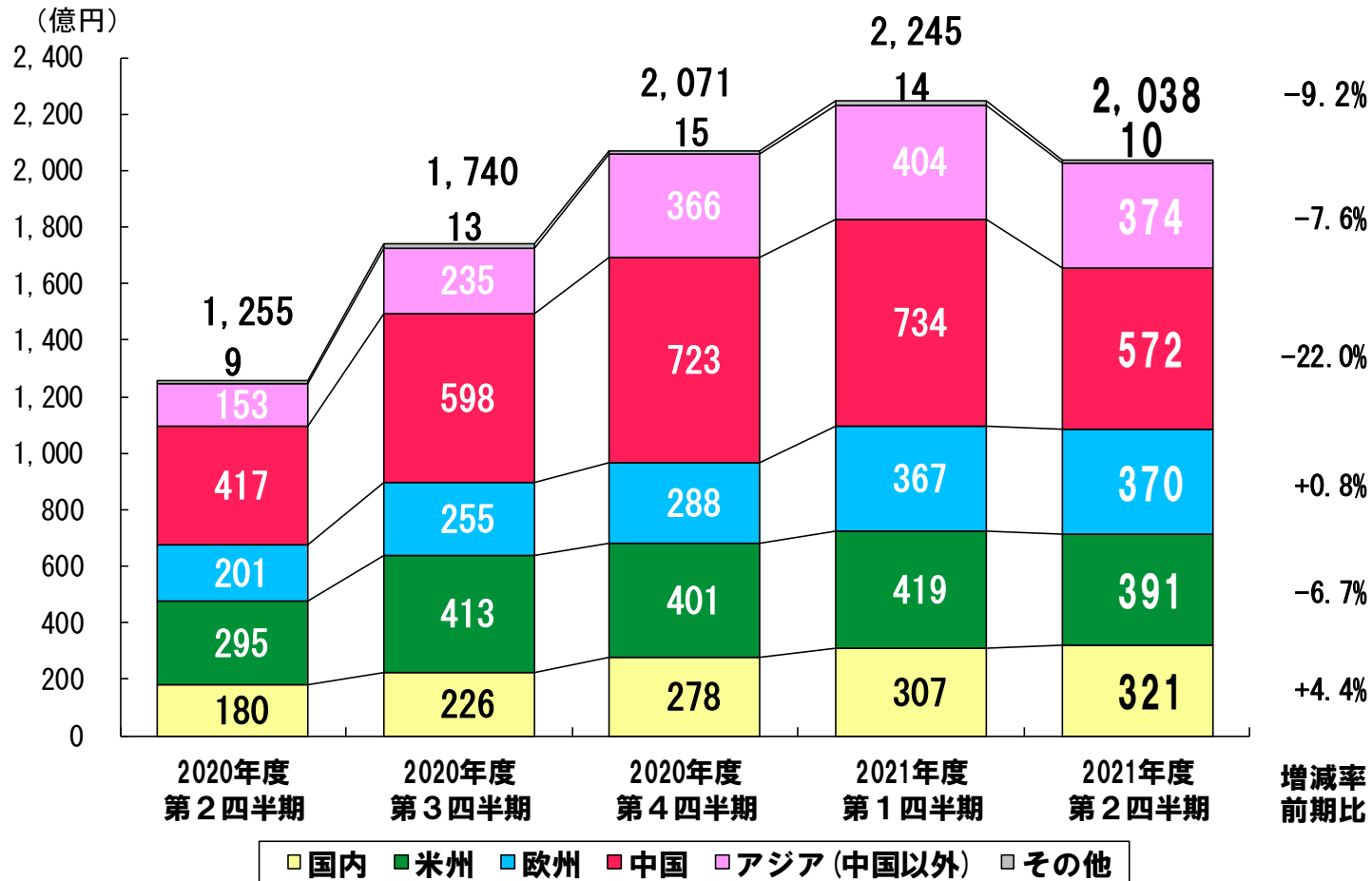


## 第2四半期（3ヵ月）の状況〔2021年度第1四半期との比較〕

- FA →中国で増加。台湾で減少。
- ロボット →米州で減少。中国で増加。
- ロボマシン→中国で大幅に減少。インドで減少。



# 連結 地域別受注高



## 第2四半期（3ヵ月）の状況〔2021年度第1四半期との比較〕

- 国内 →FA、ロボット、ロボマシンいずれも横ばい。
- 米州 →ロボットが減少。
- 欧州 →FA、ロボット、ロボマシンいずれも横ばい。
- 中国 →ロボマシンが大幅に減少。FA、ロボットが増加。
- アジア (中国以外) →FAが台湾で減少。ロボマシンがインドで減少。

(単位：億円)	2020年度 上期 (4～9月)	2020年度 通期	2021年度 上期 (4～9月)	増減額 前年同期比
設備投資額	106	186	134	+28
減価償却費	217	451	228	+11
研究開発費	234	469	247	+13

## 連結 通期業績予想

(単位：億円)	2020年度	2021年度予想		増減率 前年比	増減率 前回予想比
		前回予想	今回予想		
売上高	5,513	7,276	7,089	+28.6%	-2.6%
売上原価 【売上原価率】	3,493 63.4%	4,278 58.8%	4,200 59.2%	+20.2%	-1.8%
営業利益 【営業利益率】	1,125 20.4%	1,944 26.7%	1,775 25.0%	+57.8%	-8.7%
経常利益 【経常利益率】	1,287 23.4%	2,164 29.7%	2,034 28.7%	+58.0%	-6.0%
特別損益	-	-5	-5	-	-
純利益 【純利益率】	940 17.1%	1,560 21.4%	1,508 21.3%	+60.4%	-3.3%
為替レート					
円/1USD	106.06	106.12	107.40	+1.3%	+1.2%
円/1EUR	123.70	126.74	127.95	+3.4%	+1.0%

2021年度下期  
為替レート想定

円/1USD 105円

円/1EUR 125円

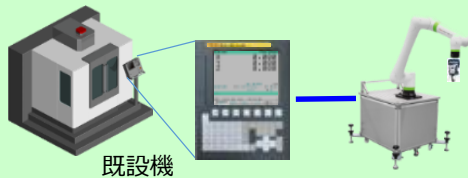
- 工作機械とロボットの親和性を向上させることで、加工現場のロボットによる自動化を促進

(QSSR は Quick and Simple Startup of Robotization の略称です)

## 既設機にロボットを導入

### QSSR ON-SITE

工作機械の変更不要で  
既設機にロボットを導入

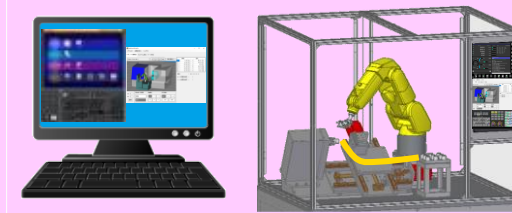


## 新規に工作機械とロボットのシステムを導入

### 新機能 (次頁で紹介)

### QSSR AUTO PATH

ロボットプログラムを  
自動生成



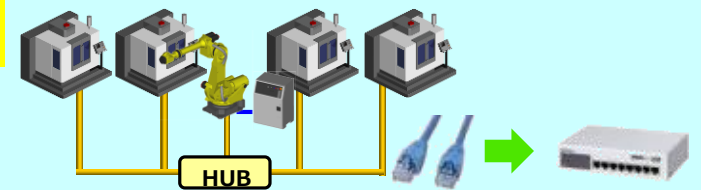
### QSSR G-CODE

手動ハンドルとGコードで  
ロボットプログラミング



### QSSR CONNECT

より高度に  
工作機械とロボットを連携



## ロボットプログラムを自動生成し、プログラム作成工数を大幅に削減 デジタルツインの考えを適用し利便性を向上

従来手法

狭い工作機械内で衝突しないようにロボットを操作  
複数の位置に移動させロボット経路プログラムを作成



新提案

デジタル空間上でロボットの動作開始点と終了点のみ指定  
ワークや治具と干渉しないロボット経路プログラムを自動生成



# M-1000iAについて

EV用バッテリー製造を見据えた、1000kg可搬大型ハンドリングロボット



M-1000iA

## 広い動作範囲

- J3アームの動作範囲が広いシリアルリンク機構を大型ロボットで初めて採用

## 強力な手首性能

- 手首部最大可搬質量1000kg
- 手首部はIP67の防塵防滴性能

## 使いやすさ

- ビジョンセンサなど様々な知能化機能に対応
- 使いやすいタブレットTPにも対応

- 2021年10月 EMOミラノ2021で初出展
- 2021年12月 量産出荷開始予定

# LR-10iA/10について

省エネ性能を高めた、高性能フルカバーロボット



LR-10iA/10

## 省エネ性

- 本体質量が従来の1/3という軽量なボディで、消費電力は従来比で3~4割削減
- 場所を取らないスリムでシャープなデザイン

## 防塵・防水性

- フルカバーで粉塵や水の浸入を防ぐ高い保護構造

## 高性能・高信頼性

- ビジョンや力センサなど各種智能化機能に対応
- 長年培った高信頼性技術を採用

- 2021年10月 EMOミラノ2021で初出展
- 2022年 1月 量産を開始予定